

IT21 の会 (平成 17 年 10 月) 第 92 回議事録

日 時 : 平成 17 年 10 月 7 日(金) 18 時 30 分 ~ 20 時 30 分

場 所 : 日本技術士会 暮出第 2 ビル 5 階 A/B 会議室

出席者 : 26 名 CPD ポイント 1 . 0

配布資料

- ・ 0510-1 IT21 の会 10 月例会のご案内(矢田美恵子氏)
- ・ 0510-2 IT と人の輪 (和 = ハーモニー) で紡いだ遺伝子音楽(矢田美恵子氏)
- ・ 0510-3 情報社会の脆弱性とリスク対策、「専門監査人資格認定講座」のご案内(黒澤兵夫氏)
- ・ 0510-4 1993 年北海道南西沖地震 M7.8 前の夜間気温異常の統計的考察(犬伏裕之氏)
- ・ 0510-5 IT21 の会 10 周年企画 WG 設立のお知らせ(石井一夫氏)
- ・ 0510-6 プロジェクトチーム国際展開グループ (IECJ21) 設立のお知らせ(石井一夫氏)

議 事

- 1 . 議事および資料確認 (矢田美恵子氏)
- 2 . IT と人の輪 (和 = ハーモニー) で紡いだ遺伝子音楽 (矢田美恵子氏)

矢田氏の母校である広島国泰寺高校が、文部科学省のスーパーサイエンススクールに指定され、3 年計画でオオサンショウウオの遺伝子解析を行った。得られた遺伝子情報をもとに、その塩基配列を音符へ変換、美しいメロディを奏でる試みが行われた。

遺伝学者・大野乾博士は、“音楽が音楽たる由縁は、主題が少しずつ変化しながら繰り返していくところにあり、同様に繰り返しをもつ DNA も音楽に変換することができる”と述べ、遺伝子音楽を提唱した。研究に携わった高校生、研究を指導された広島大三浦郁夫助教授、エリザベト音大の音楽家、シンガーソングライターの杉 真理氏らは、大野博士により経験的に作成された変換表を用いて、塩基配列から音符への変換を行い、全 5 曲が完成した。

この広島国泰寺高校の試みは、矢田氏が編集に携わる財団法人バイオインダストリー協会の機関誌「バイオサイエンスとインダストリー」本年 3 月号に、作曲された遺伝子音楽の CD と共に紹介され、一般市民、音楽愛好家などから多くの問合せを受けることとなった。

また、7 月度技術士 CPD ミニ講座として、ピアノ生演奏付きの講座が開催され、成功裡に終わると共に、大手新聞やラジオ局などマスメディアにも取り上げられ、予想を超える収穫であったことが紹介された。CD 作成やマスメディアの活用などについては、IT21 の会 ML などによる会員からの助言によるところが非常に大きいことが紹介された。

- 3 . 「情報社会の脆弱性とリスク対策 (10/28 開催)」、「専門監査人資格認定講座」のご案内 (黒澤兵夫氏) システム監査学会主催の公開シンポジウム及び主催講座の案内を行った。

- 4 . 大地震前の熱的兆候をもとにした地震予測手法(犬伏裕之氏)

大きな地震の前に地表面温度が上昇すると言われている。本兆候から夜間の気温の上昇が起こると仮定し北海道奥尻島地震前の夜間気温上昇について発表があった。

- 5 . IT21 の会 10 周年企画 WG 設立のお知らせ(石井一夫氏)

本 WG の設立についての案内、メンバーの紹介、現時点での構想について説明があった。次回 12 月例会のサブテーマとして、10 周年企画についてのディスカッションを予定。

- 6 . プロジェクトチーム国際展開グループ (IECJ21) 設立のお知らせ(石井一夫氏)

本プロジェクトチームの設立についての案内、目的、活動内容の説明、メンバーの紹介があった。

- 7 . 翻訳プロジェクトの計画について(児玉公信氏)

DeMarco 氏が 1990 年 12 月にまとめた 1980 年代の重要論文を翻訳するプロジェクトの意義および参加メンバーについて紹介があり、IT21 の会のサブプロジェクトとして承認された。

以上 (記載者: 阿部誠 記)